

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」河内松原校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・スペースを工夫して分割し活用しています	
	②	職員の配置数は適切である	○		・法令を遵守した配置です。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○	・利用者されるお子様が情報過多にならないような工夫をしています。	・現時点で改修等の計画はありません。今後、検討してまいります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・感染予防ガイドラインに従い、安全対策に努めています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		・事業所内で、ミーティングや面談を定期的にもた適宜実施しています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・今後、会社と検討していきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・定期的な研修を法人内の関連事業の発達研究所と連携した研修に参加しています。	
適切な	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・アセスメントをもとに課題を分析し、個々	

支 援 の 提 供				の発達・特性に応じた個別支援計画の作成に努めています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・ミーティングや面談で支援内容を確認し、固定化しないように努めています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		・利用状況やお子様の状況に合わせ、支援の後半に集団活動を取り入れるなどの対応をしています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・毎回、当日または前日に内容確認をしています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・随時、時間を作り話し合っています。全員に周知すべき内容はすぐにミーティングで周知しています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				・対象児童が不在。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				・対象児童が不在。
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		・予定はしておりません。
保護	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			・支援後の振り返り時に担当職員と相談をいただいています。また、担当職員だけの回答が困難な場合は、管理者が引き継ぎご相談・ご回答の体制をとっています。
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			・ご利用者保護者様に対して、当法人内の発達研究所「はつけんラボ」の遠隔研修等の案内をしています。
保護	㉛	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			

者への説明責任等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・振り返りの時間にお話を伺います。ゆっくりと対応すべき内容の時は別に時間をいただき対応させていただいています。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・令和3年度は、保護者会（8/9. 1/10）を実施いたしました。	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・申入れがあった場合には、相談を受け、対応させていただいています。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		・LINEを活用した情報発信を検討していきます。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・個人情報は、鍵付き書庫で保管しています。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		・予定はしておりません。今後、検討していきます。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			・保護者様への周知方法を検討します。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・訓練を毎月実施しております。訓練計画は掲示しております。	・保護者様への周知方法を検討します。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・アセスメント時に聞き取りをしています。	

④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			・食物アレルギーのある児童不在です。(ただし、当事業所では食事提供はありません。)	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・法人内の研修、大阪府等の研修に参加しています。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」河内松原校

保護者等数（児童数）：18 回収数：12 割合：66.7%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	2			・問題ないと思います。	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	1		1	・問題ないと思います。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	12				・子供は居心地よく楽しく過ごせています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12				・子供は居心地よく楽しく過ごせています。	
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	12				・しっかり聞きとり、話し合いがありました。	
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11			1	・子供の普段の様子などを聞いて下さりそれに合わせて支援内容を組んで下さっています。	
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11	1				
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12				・発達に応じて柔軟に見直しされるみたいです。 ・いつも新しい内容なので、子どもも沢山刺激を受けています。	

	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	2	3	2	・まだ参加する機会がなかった ので。	・今後も計画し、実施してまいります。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12				・契約時に丁寧な説明がありました。	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	12				・契約時に丁寧な説明がありました。	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	7	4		1	・契約時に丁寧な説明がありました。 ・参加したことがないので分からない。	・今後もママパパカフェや発達研究所の研修や講演会などをお知らせしていきます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10	1		1	・契約時に丁寧な説明がありました。 ・いつも細かく説明して下さって嬉しいです。	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	1		1	・契約時に丁寧な説明がありました。 ・小さな相談にも乗って下さり、抱えていた悩みも楽になります。信頼しています。	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	2		4		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	12				・話しやすい雰囲気があります。	

	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12					・いつもお迎えの時に、“本日の様子”をしっかりと伝えてくれているので安心。	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	8	4				・LINEにて発信されています。	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	11	1					
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	6	3		3			
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	2	1	4			
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	11	1				・人見知り、場所見知りしていた子供が泣かずに一人で療育を受けているので嬉しいです。	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	12					・通いやすく先生も明るく接してくれるので満足してます。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。